

一級河川北上川水系 二迫川 荒砥沢ダムの効果(令和8年8月14日)

宮城県

○荒砥沢ダムでは、令和8年8月14日に不安定な大気をもたらす雨の影響により、**流域平均の累計雨量が64mm、最大時間雨量では28mmを記録しました。**これによるダムへの最大流入量は、計画430m³/sに対し、**39.15m³/s**でした。

○今回の洪水調節により**最大流入時の62.7%(24.53m³/s)**を貯留し、下流河川の水位上昇を軽減しております。

ダムの位置図



荒砥沢ダムの洪水調節実績

・洪水調節	開始	14 日 17 時 20 分	終了	14 日 17 時 40 分
・ダム流域累計雨量	64	mm	(14 日 14 時 ~ 14 日 19 時)	
・最大時間雨量	28	mm	(14 日 15 時 ~ 14 日 16 時)	
・ダムへの最大流入量	39.15	m ³ /s	(14 日 17 時 20 分)	
・最大流入時の放流量	14.62	m ³ /s		
・ダムによる最大調節量	24.53	m ³ /s	(約 62.7 %)	

ダムの状況写真



貯水池ダム堤体上流
(撮影8月17日 11時00分)



ダム堤体下流
(撮影 8月17日 10時40分)

荒砥沢ダムによる調節量

最大流入時に、流入量の 62.7% をダムに貯留しました。

最大流入時の放流量
14.62 m³/s

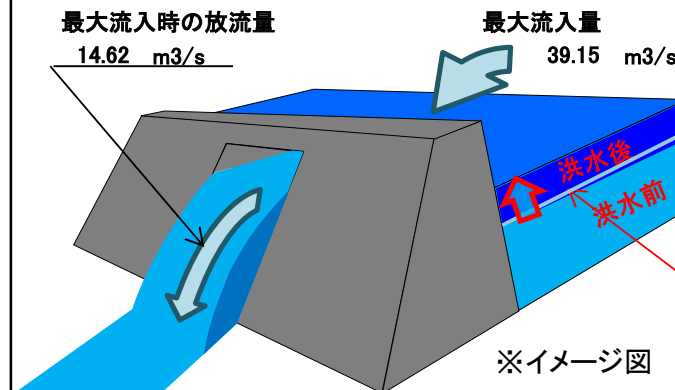
最大流入量
39.15 m³/s

洪水調節開始時の貯水位
269.23 m

洪水調節時の最高貯水位
269.28 m

最大貯留量
27 千m³

0.05 m上昇



一級河川北上川水系 二迫川 荒砥沢ダムの効果(令和8年8月14日)

宮城県

○荒砥沢ダムの洪水調節等により、この若柳地点で、**水位を約 0.10 m低減させる効果**があったものと推測され、河川がはん濫する危険を軽減し、迫川沿岸市街地の洪水被害の防止に努めました。

下流河川の状況写真

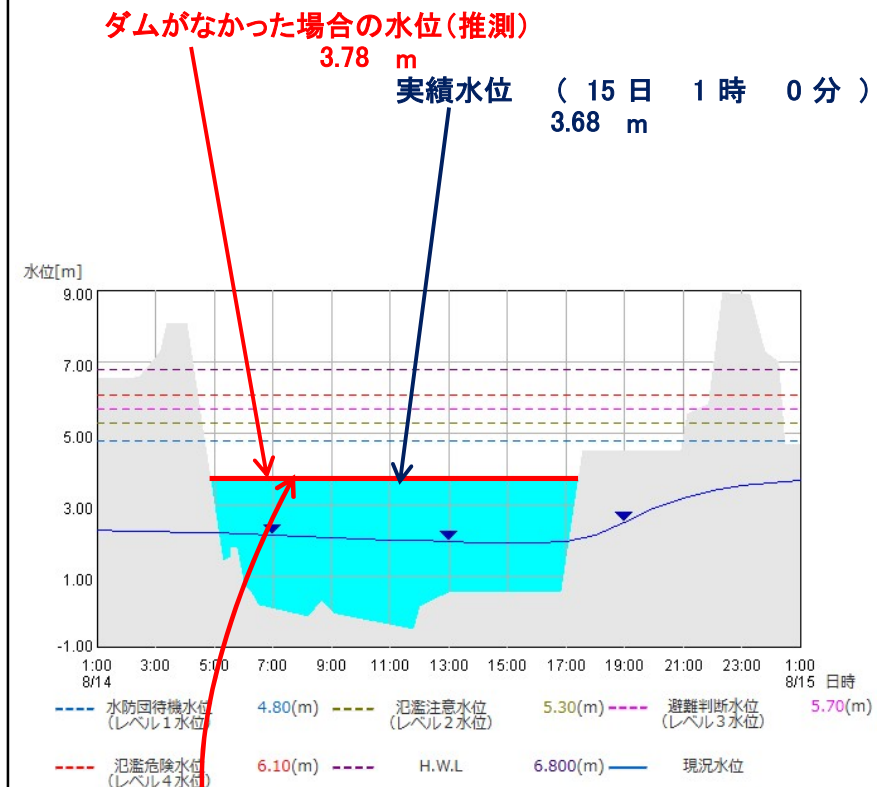


8/17 9:50 水位 0.42m
【洪水後】荒砥沢ダム下流 山下橋(上流を望む)



8/17 9:20 水位 0.74m
【洪水後】荒砥沢ダム下流 新橋(上流を望む)

迫川(若柳地点)の水位低減効果



ダムにより約 0.10 mの
水位低減効果を推測